

Kanagawa East
Rotary
Club



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2021-2022年度 第15週報 No. 2158 2021年(令和3年)11月26日 第2158回 例会記録 12月3日発行

本日〈12月3日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「君が代」「奉仕の理想」
- ◆ 献立 週替わり弁当
- ◆ 卓話 「女性とうつ」
菊名記念病院 精神科医 青山 恭子 様
(紹介者 山本 登 会員)



写真提供 小池 将夫

司 会 馬場 佳子 副幹事

会長報告 山本 芳弘 直前会長

・臨時理事会の報告

点 鐘 山本 芳弘 直前会長

幹事報告 田口健太郎 直前幹事

- ・明日、パシフィコ横浜会議センターにて地区大会が開催されます。
受付開始 12:00 点鐘 13:00
- ・横浜 R A C 50 周年記念例会の案内が来ておりますので回覧致します。
- ・R財団帰国報告会の案内が来ておりますので回覧致します。

斉 唱 「手に手つないで」
ソングリーダー 角野 弘幸 会員

四つのテスト 森永 健 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

誕生日祝 吉橋佐千男 会員 (11月30日)



ゲスト紹介 豊田 恵子様 (ゲストスピーカー)

2021-2022年度 R I 会長 シェカール・メータ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

第2590地区 ガバナー 小倉 正

会 長	小 山 市 康	会 計	渡 邊 淳
会長エレクト	赤 堀 伽寿一	副 会 計	長 野 毅
副 会 長	横 溝 亘	S A A	古 澤 一 憲
副 会 長	加 藤 仁 昭	副 S A A	加 野 亮 一
幹 事	友 添 辰 哉	副 S A A	吉 田 隆 男
副 幹 事	馬 場 佳 子	クラブ会報	清 水 茂 夫

例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
創立記念日 昭和51年5月29日

結婚記念日祝

田中龍太郎 会員 (11月27日)
 我妻 隆邦 会員 (11月28日)
 飯田 泰之 会員 (11月30日)



入会記念日祝

森永 健 会員 (12月1日)



出席報告

北村 大輔 出席委員長

会員総数	47名	(27+20)名	
出席会員数	34名	(19+15)名	
出席率	80.95%		
ゲスト	1名	ビジター	0名
前回補正後	88.10%	前々回補正後	91.11%

スマイルボックス

加野 亮一 副SAA

田中龍太郎君 結婚記念日祝い、ありがとうございます。
 森永 健君 入会16年目です。これからもよろしくお願いします。

表紙の写真 T15



今年の秋の行楽シーズンもコロナ禍で人出もなく過ぎた晩秋の箱根芦ノ湖。スワンボートたちも何か退屈そうに見えました。

【写真提供 小池 将夫 会員】

月山 勇君 先週、「吉田ガバナー年度慰労会」参加の皆様、お疲れ様でした。久しぶりに楽しく過ごすことが出来ました。
 山本 登君 朝晩冷え込みます。ご注意ください。
 山本芳弘君 先週のガバナー年度慰労会出席出来ず、申し訳ありませんでした。改めて、皆様のご苦労をお労い致します。
 小山市康君 本日、地区大会出席の為例会は欠席します。山本芳弘直前会長、田口直前幹事、よろしくお祈いします。
 横溝 亘君 豊田様、本日の卓話、楽しみにしております。
 茂木知子さん 豊田様、卓話よろしくお祈いし致します。とても緊張していらっしゃると思いますが、安心して下さい。今日の『田園の誘惑』というお題、当クラブの会員の皆様は「誘惑」という言葉がお好きな方が多くいらっしゃると思います。皆様、多趣味のため田園からネオンの園までたくさんの誘惑を抱えています。リラックスしてお話してください。
 角野弘幸君 ガバナー年度慰労会、楽しかったです。月山さん、矢野さん、ありがとうございました。
 池田広樹君 ガバナー年度慰労会、楽しかったです。ありがとうございました。
 北村大輔君 ①豊田恵子様、本日の卓話、楽しみにしております。②先日は、皆様、ご来店ありがとうございました。
 加野亮一君 朝晩寒くなりました。ガバナー年度慰労会、ありがとうございました。楽しかったです。

11月26日	12件	42,000円
本年度累計		670,500円
年度目標進捗状況		-13%

田園の誘惑

豊田 恵子 様
 (紹介者 茂木 知子 会員)



大倉山動物病院の茂木知子先生と知り合ったのは愛犬ココの診察をお願いしたのがはじまりです。我が家のマンションのお隣に越してきた知子先生の甥御さんの紹介でした。ココはその時すでに高齢で、2年半前に亡くなりました。私が書いているfacebookから再び茂木先生とつながり、このロータリークラブの卓話会にご招待されました。

私は子供たちに造形と絵画を横浜で約40年間教えてきました。今は夫がパーキンソン病のために介助に専念し長野川上村での生活を出来るだけ楽しもうと考えています。コロナ禍ではありませんが、八ヶ岳での暮らしの方が安全だろうと県を跨ぎ、ドアトウドアと言いつつ山小屋に行っていました。

川上村は八ヶ岳東麓にありレタスの産地ですが、山荘は標高1400mにあります。春が来るのが都会より2ヶ月遅く、冬は気温がマイナス15度にもなり大変寒いです。そこで1月から3月までは横浜では室内で花のアレンジを楽しんでいます。川上村は空気が綺麗な事、水が消毒臭くない事、静かな環境が好きです。

子供たちの絵画教室では絵を描く以外に木を使った工作などを指導し、県民ホールや大倉山記念館での展覧会などしました。私の方針を伝えるお知らせを書き、それはブログ《あとちえチビッコ》になりました。成長して辞めていった子たちと連絡が取れるようにツイッターやfacebookも始め、時々連絡が来るのが、大変うれしいです。教室は一度辞めましたが、お母さんお父さんになった生徒から連絡が来て孫弟子にも2年ほど教えました。

絵画教室を終了すると相前後して小さい時から好きだった花のそばにいたいと寄せ植えを始め、蓼科バラクライングリッシュガーデンのマスターの資格をとりました。八ヶ岳グレイスホテル、主人の病院、自宅マンションの植栽をボランティアでしています。また主人と行ったドイツでみたクラインガルテンからヒントを得て野菜やハーブなどにも育てて料理を楽しんでいます。

最近森の中に鹿も増えて柵が破られ、大切にしている野菜や樹木を食べられる事も多く、困っています。またリスやネズミ、うさぎ、テン、キツネも出てきます。山荘の庭はモナルダ(ベルガモット)、紅茶のアルグレーに入っているハーブがかなり広がって7月から9月まで赤い花で覆われます。また蝶を集めるブッドレアも花を咲かせ夏から秋にかけて賑やかです。そこで私はこういう生活をエンジョイできることをブログにも書き続け、《あとちえチビッコ》からもう一つ別の《田園の誘惑》をアップしました。

最近台風や線状降水帯もあり、風雨が激しい時は恐怖を感じます。またスズメバチも危険な生物ですが、駆除をしつつ注意をはらっています。ベランダでの食事や絵を描くことはまた室内とは違う楽しみがあります。七輪で炭を起こし、暖をとり、焼き芋や秋刀魚を焼き、蝋燭を灯しての食事と夜空の星を眺める事は静かな時間が過ぎるのを感じることができます。二人の娘のために自然を身近にと夫がキャンプ生活から、地に足の着いた山荘暮らしを選んだことは生活と人生に何度ものサプライズを生み出しました。

《田園の誘惑》 今もフォーエヴァーと願っています。

ガバナー挨拶



小倉 正 ガバナー

記念品贈呈



吉田 隆男 直前ガバナーご夫妻



青少年関連プログラム紹介 (米山記念奨学)



D2590米山学友会 李 徳雨 監事

2021-22年度 国際ロータリー第2590地区 地区大会

【開催日】 2021年11月26日(金)・27日(土)

【場所】 パシフィコ横浜会議センター

ロータリー芸術祭



小池会員と小山会員の写真が展示

友愛コーナー



ロータリーニュース

RI 会長からのメッセージ

2021年12月

パンデミックにより依然として世界中で人びとの命が危険にさらされているこの状況下では、公衆衛生が人びとの関心を集めています。マスクを着用しソーシャルディスタンスを保つようになった今、人びとは新型コロナウイルスのせいで医療従事者の仕事について以前よりもくわしくなったとも言えます。そして、パンデミックと闘う中、大切な人びとを守るために自分に何ができるのかということも学びました。

12月はロータリーの疾病予防と治療月間です。このたびのパンデミックで、疾病が地域社会にもたらす打撃を私たちは最悪の

形で知ることになりました。しかし、疾病との闘いは世界中でロータリアンが何十年も前から尽力してきたことなのです。ロータリーの七つの重点分野の一つでもあります。

ロータリアンは、健康と幸せは人としての権利だと信じています。それなのに、世界中で4億人の人びとが命と健康を守る医療サービスを受けられない状況にあります。診療所や眼科病院、血液銀行の設立や、設備が整っていない地域で医療が受けられるようにするための体制づくりなど、私たちが行っている活動はどれも、恵まれない人びとにもっとも甚大な被害を出す感染症流行を止めるために重要なのは医療へのアクセス、予防、そして啓蒙活動であるという根本的な信念に根ざしています。

私が医療活動にかかわったのは所属クラブであるCalcutta-Mahanagarロータリークラブに入会してからのことです。中でも印象的なのは、これまで2,500件を超える心臓手術をインドやパキスタン、バングラデシュ、ネパール、アフリカの子どもたちに無料で施してきたSaving Little Heartsというプログラムの立ちあげにかかわったことです。いまや国際的なプログラムとなりましたが、当初の目標は地元の地域社会でたった6件の手術を行うことでした。今日では、今後5年間で20,000件の手術を完了させるのが目標となっています。

こういった課題に取り組み、世界に模範を示すのがロータリーの役目です。ロータリーが世界中で実施しているファミリー・ヘルス・デーには、ここ10年間で医療従事者や政府職員が10カ国で250万人の人びとに無料で診察を提供してきました。同様のヘルスクャンプ（無料巡回診療）がインドでも行われ、何千人もの恵まれない人びとに無料で手術を提供してきました。インドからアフリカへと毎年派遣される医師団は、疾病予防と治療における実地的な奉仕活動の好例です。また、地元でできる活動もあります。たとえば、米国やメキシコのクラブはメキシコの小さな町ゲレロで無料診察クリニックを設立・運営する資金を提供しています。

それからもちろん、市民社会の医療ケアにおける最高の例は何と言ってもロータリーのポリオ根絶活動です。

今月は、ぜひ疾病の予防と闘いに重点を置いてクラブ活動の予定を組み立ててください。より多くの人びとに変化をもたらすために、今こそ、クラブと地区のプロジェクトでこれまで以上に大規模で大胆なアプローチを採用すべきです。目標達成に向けて現状を確認しましょう。何カ月ではなく何年にもわたって変化を保てるような戦略を立てましょう。

誰もが健康で長生きすべきなのです。みんなの人生を豊かにするために奉仕すれば、あなたが今日とった行いのおかげでほかの誰かが長生きすることになるでしょう。

シェカール・メータ
2021-22年度会長

次回〈12月10日〉の予定

「講談で学ぶ日本の歴史」

講談協会 真打 神田 山緑 様

(紹介者 加野 亮一 会員)